

岩手県工業技術研究推進会議 材料技術部会議事録	(実施日) 平成16年10月26日(火)
----------------------------	-----------------------------

(テーマ名) 鑄造複合材料の製造技術開発 (事前評価)

委員	質問・意見	回答
G委員	プリフォーム技術が必要な理由、従来の鑄ぐるみ技術の問題は何か？	加工コストを削減する為に、製品に近い形状で鑄ぐるむ必要性がでてきた。例えば、薄い製品は従来法ではできず、プリフォームで可能となる。
D委員	試作品を製造する企業では鑄鋼品を製作しているのか？またどの程度の寸法まで試作できるのか？	この企業では、ステンレス鑄鋼品を主に生産している。枠サイズで1m×1m程度までの製品が製造可能である。
C委員	従来の方法は大型の製品向け、プリフォーム技術を必要とするのは小型もしくは精密な製品向けと差別化を図る必要があるのではないか？	プリフォーム技術を必要とする対象物が必ずしも小型とは限らない。参加企業によって鑄ぐるむ母材や製品の大きさなど多岐に渡っているため、企業の実状に合わせて行きたい。
F委員	従来の研究の参加企業や対象物と、プリフォーム技術を用いる今回の研究との関係を整理して説明して欲しい？	従来の鑄ぐるみ技術による試作対象と、今回の技術の適用対象は異なる。従来の研究は1社のみ参加であったが、今回は他の企業にも技術普及を図る予定である。